



## 健康と温泉フォーラム第73回月例研究会のご案内

- 主催：特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム  
共催：非営利団体地域活性学会 特定非営利活動法人日本スバ振興協会  
一般財団法人日本健康開発財団 併催 温泉療法医研修会
- 日時：2017年8月22日(火) 13:30~16:45 (受付13:00から)
- 会場：東京文化会館4階中会議室 (JR上野駅公園口前)
- 定員：70名 (先着順)
- 参加費 2,000円 (会員：地域活性学会、日本健康開発財団、日本スバ振興協会、温泉療法医会健康と温泉フォーラム) 3,000円 (一般参加者) 無料 学生・報道関係者。当日受付でお支払いください。
- 講師 小松圭子 (はたやま夢楽(むら) 社長：高知県安芸市畑山温泉憩いの家)



### 略歴

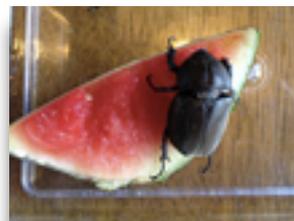
1983年愛媛県生まれ。早稲田大学にて農業経済を学ぶ。愛媛新聞社記者を経て、2010年、はたやま夢楽の社長・小松靖一と結婚、移住。2017年1月、はたやま夢楽社長就任。限界集落での企業経営や、田舎暮らしについて新聞や雑誌に連載。NHKラジオのリポーターや、高知放送の生番組にてコメンテーターを務める。2児の母。

### ■ テーマ 「温泉地再生の事例研究シリーズ(2)」「限界集落で希望の種をまく」

千年以上の歴史があり、半世紀前まで800人が暮らした高知県安芸市畑山。木材の輸入自由化や価値観の変化で、人は市街地へと流れ出た。人口流出が止まらない中、1980年代に地元住民の要望を受けて、安芸市が開発に乗り出し、温泉施設を建設した。日帰り入浴施設から、食堂、宿へと展開したが、開業から約20年、1億円以上の累積赤字を抱え、廃業を迫られた。一方、「生まれ育った畑山で暮らしたい」と高知県の地鶏「土佐ジロー」の養鶏に専念し、畑山での産業興しに躍起になった男がいた。学校も廃校になり、今度は宿まで廃業になれば、畑山は消滅に向かう。「土佐ジローだけではダメだ、なんとしても交流拠点施設を残したい」と、温泉施設の指定管理者となり、異業種へ参入した。参入を機に、有限会社はたやま夢楽(むら)として農業法人化。食堂・宿は【土佐ジロー】を軸に情報発信をし、ファンを獲得。年間8千人を呼び込むまでになった。人口は40人にまで激減したが、はたやま夢楽には愛媛から元新聞記者の嫁が来て子どもが二人生まれ、長野県と東京都から新入社員を迎えた。畑山で、土佐ジローを軸にした六次産業化を図りながら、畑山という集落を次代に繋ぐため、希望の種をまき続けている。

### ■ プログラム (予定)

- |           |                  |
|-----------|------------------|
| 1300      | 受付               |
| 1330~1500 | 講演               |
| 1500~1515 | 休憩               |
| 1515~1630 | オープンディスカッション Q&A |
| 1645      | 閉会               |





E-mail [info@onsen-forum.jp](mailto:info@onsen-forum.jp) Fax 03-6804-8575

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書 (各にをお願いします)

第73回月例研究会 (2017年8月22日 (火) ) に出席します。

●お名前 (複数可)

- ・
- ・
- ・
- ・

●所属会員

- |                                     |                                   |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 健康と温泉フォーラム | <input type="checkbox"/> 地域活性学会   |
| <input type="checkbox"/> 日本スパ振興協会   | <input type="checkbox"/> 日本健康開発財団 |
| <input type="checkbox"/> 温泉療法医会     | <input type="checkbox"/> その他      |

●団体・組織名

●住所 〒

●連絡先 TEL

FAX

E-mail

携帯☎

●連絡事項 (月例研究会に関するご意見・ご要望他)